

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

第一章 エントリーのタイミングを見直そう

1. 初心者が悩むエントリーのタイミング

相場の方向性が分かっているにもかかわらず、エントリーしたら逆行して損切りし、損切りしたら、仕掛けた方向へ動き出す。これを繰り返すとだんだん自分の相場観がおかしくなり、結局、勝てないままトレードをあきらめる結果になってしまいます。

このような失敗が起きる背景には、エントリーするタイミングが根本的に間違っていると言う事があります。

相場には周期があり、これを見極めないとエントリーするといつも逆行から始まってしまう事になります。でも、逆にいえば、周期さえ分かれば、エントリーして数秒後には含み益が生まれるトレードができるようになります。

たとえ大きな方向性が間違っているにもかかわらず、含み益が生まれれば、建値にストップを置くことで、損失を免れることもできます。

2. エントリーは1分足で行おう

通常のチャートシステムでは、最短のタイムフレームは1分足です。1分足の周期に合わせてエントリーすることで、とりあえず、エントリー直後にブ

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

ラス転換することを目指します。

1分足の周期は短いので、長時間待つことはありません。多くの場合、エントリーするタイミングがおおよそ10分ごとにやってきます。これが1分足の周期を使うメリットです。

3. XXX を使おう

XXX と聞くと「ボックス相場専用」「逆張り専用」「トレンドに弱い」と連想しがちですが、トレンドにもトレンドレスにも、また、逆張りにも順張りにも使える XXX があります。

また、移動平均線やボリンジャーバンド、スパンモデルと言ったトレンド系の指標と組み合わせれば、どんな相場の局面にも対応することが可能です。

「XXX」のもともとの意味は「振動するもの」で、振り子のように、一定の周期で行ったり来たりするものです。つまり、上昇局面と下降局面の間を行ったり来たりする指標と言う事になります。

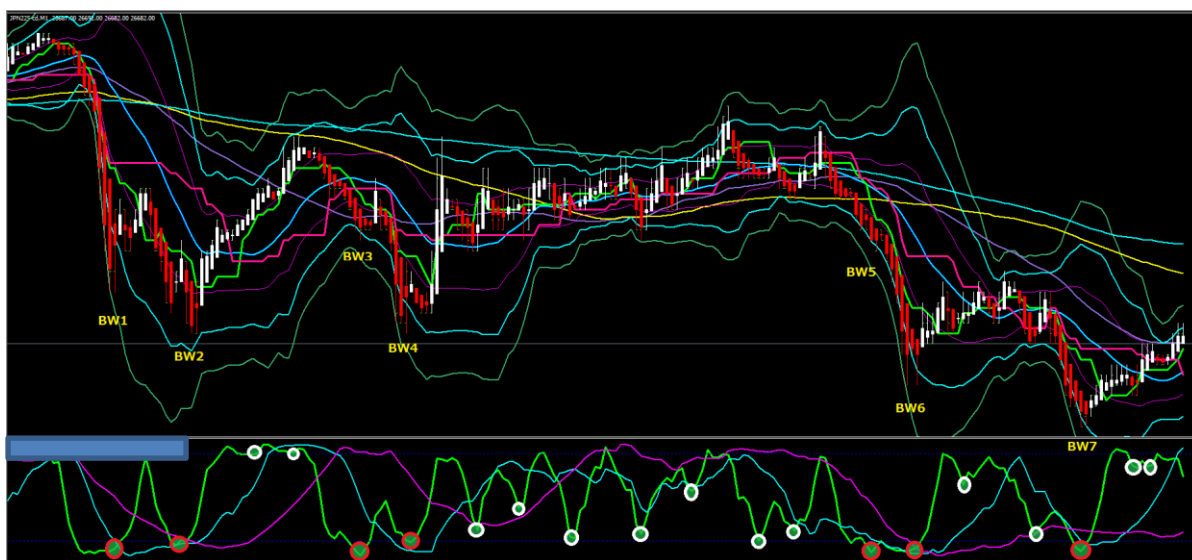
デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

第二章 チャートでエントリー位置を見つけよう

1. 基本的な相場の転換点

画像 1 (上昇の起点)



まずは、上の画像 1 をご覧ください。これは、相場が上昇を始める位置を示したものです。

チャートの上の部分は平均足とボリンジャーバンド、スパンモデル、移動平均線を表示しています。

ローソク足が赤と白になっていますが、普通のローソク足ではなく、平均足と言う特殊なローソク足です。赤は下落、白は上昇を表します。

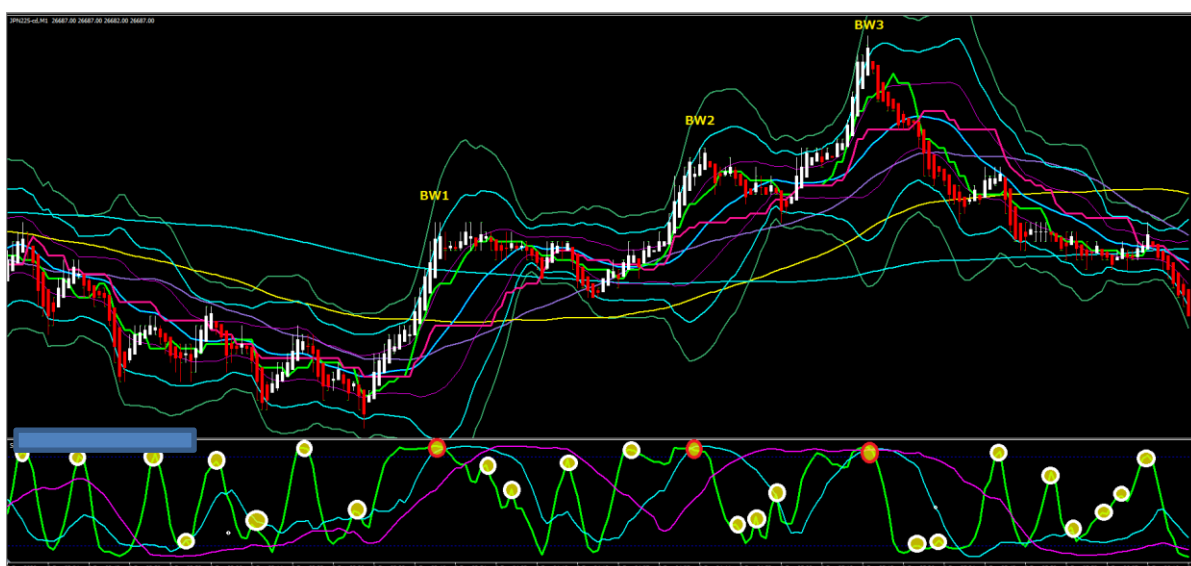
チャートの下の部分には短期 (緑)・中期 (青)・長期 (紫) の3本のXXXを表示しています。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

このXXX画面に記されている赤枠や白枠の丸印が上昇の起点となっ
ていますが、起点となっているのは、短期の緑線が下向きから上向きに変わったと
ころです。極めて簡単に相場が上昇する起点が分かるでしょう？

画像2（下落の起点）



下落の場合も同様に簡単に把握することができます。

画像2のXXX画面に記されている赤枠や白枠の丸印が売りのエントリーポ
イントとなります。起点となっているのは、短期の緑線が上向きから下向き
に変わったところです。

次に、長く強いトレンドが発生している局面と、そうでもない局面に分け
て観察してみましょう。

2. 強く長いトレンド発生後のエントリーポイント

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

2-1. 買いの場合 (画像1)

赤枠の緑○がバンドウォークの強く長いダウントレンドの終息ポイントで、買いのエントリーポイントを示しています。緑色の短期線がXXXの最小値-100近くまで下げた後、上向きに変わったところです。

2-2. 売りの場合 (画像2)

赤枠の黄○がバンドウォークのアップトレンドの終息ポイントで、売りのエントリーポイントを示しています。緑色の短期線がXXXの最大値100近くまで上げた後、下向きに変わったところです。

2-3. ポイントができる位置

長く強いトレンドの終息ポイントは、ほとんどの場合、レンジの最大値の上端付近もしくは最小値の下端付近にできます。更に、短期線以外の2本もだいたい同じタイミングで集まってきます。

3. 短いトレンド発生後のエントリーポイント

3-1. 買いの場合 (画像1)

白枠の緑○が短いトレンドの終息点で、買いのエントリーポイントを示しています。

3-2. 売りの場合 (画像2)

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

白枠の黄○が短いトレンドの終息点で、売りのエントリーポイントを示しています。

3-3. ポイントができる位置

短いトレンドの終息ポイントは、レンジのどの位置でもできる可能性があります。短期以外の2本の向きもバラバラであることも普通に見られます。

いかがでしょうか。このXXXを使えば、相場の方向性が転換するポイントが簡単に見つかりそうですね。次の章では、XXXの具体的な設定方法やその見方を説明します。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

第三章 XXX が分かればすべて解決

前章で見た画像に使われていた XXX について、少し説明しましょう。

1. 基本の XXX 設定

1 - 1. 使用している XXX

XXX を使っています。この XXX は XXX 係数と呼ばれ、時間と価格それぞれに順位をつけることによって、両者にどれだけの相関関係があるのかを計算し、相場のトレンドとその勢い、更に方向の転換点を知ることができる代物です。

1 - 2. 各周期の数値と主な用途

短期線 : x (エントリーのタイミング用)

中期線 : x x (トレンドの方向)

長基線 : x x x (上位足のトレンドの方向)

1 - 3. ゾーン設定

買いゾーン : -XXX 以上

売りゾーン : +XXX 以下

2. XXX の見方

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

2-1. XXX の方向

XXX の方向はトレンド方向を表します。すなわち、上向きであれば上昇、下向きであれば下降を表します。

また、XXX がある XXX 近くで XXX ように横ばいになっているときは、強い上昇トレンド発生中であることを示します。

同様に、XXX がある XXX 近くで XXX ように横ばいになっているときは、強い下降トレンド発生中であることを示します。

2-2. XXX の起点と傾き

XXX の方向が変わったところがトレンドの転換点とみなします。この転換点が、最大値の上端や最小値の下端に近ければ近いほど、パワーを持ったトレンドと判断します。

また、XXX の傾きが垂直に近ければ近いほど、トレンドの勢いがあると判断します。

2-3. 短い周期で XXX になるとき

XXX が短い周期で上下して、XXX のように XXX になっているときは、トレンド方向がはっきりしないかトレンドレスの状態と判断します。

3. 複数 XXX での基本分析

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

3-1. 3本とも XXX

この時は、強いトレンドが発生中と判断できます。従って、迷いなく XXX の示す方向へ仕掛けることができます。ただし、賞味期限は短期線が反対の端に到達するまでです。

3-2. 中期・長期線が XXX

中期・長期線の方向に強いトレンドが発生中です。短期線が中・長期線の方に転換した時が順方向への仕掛けのチャンス。逆張りはリスクが大きくなります。

3-3. 3本が XXX

トレンドレスやボックス相場となっている場合が多いので、中期・長期線の方向性はあまり強くありません。よって、短期が売り買いゾーンで反転した方向へ仕掛けるのが基本。

3-4. 3本とも XXX 付近や XXX 付近に XXX

XXX 付近に張り付いているときは上位足でも強い上昇トレンド発生中。XXX 付近に張り付いているときは、上位足でも強い下降トレンドが発生中の時です。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

第四章 局面別のエントリー方法

1. 大きなトレンドの転換点

短期線・中期線・長期線の3つのXXXは、それぞれが別々に売りゾーンと買いゾーンの間を行ったり来たりしていることが分かります。上昇と下降が1回ずつ発生すると、元の位置に戻ってきます。ですから、この「上昇と下降の1セット=周期」と考えることができます。

強くて長いトレンドは、短期・中期・長期の3つのトレンドがXXXの時に発生します。

上昇トレンドの場合は、多くの場合、買いゾーンを起点に始まり、売りゾーンまで上昇します。そして、再び、買いゾーンへ向けて、下落が始まります。下降トレンドは、これと逆の動きとなります。

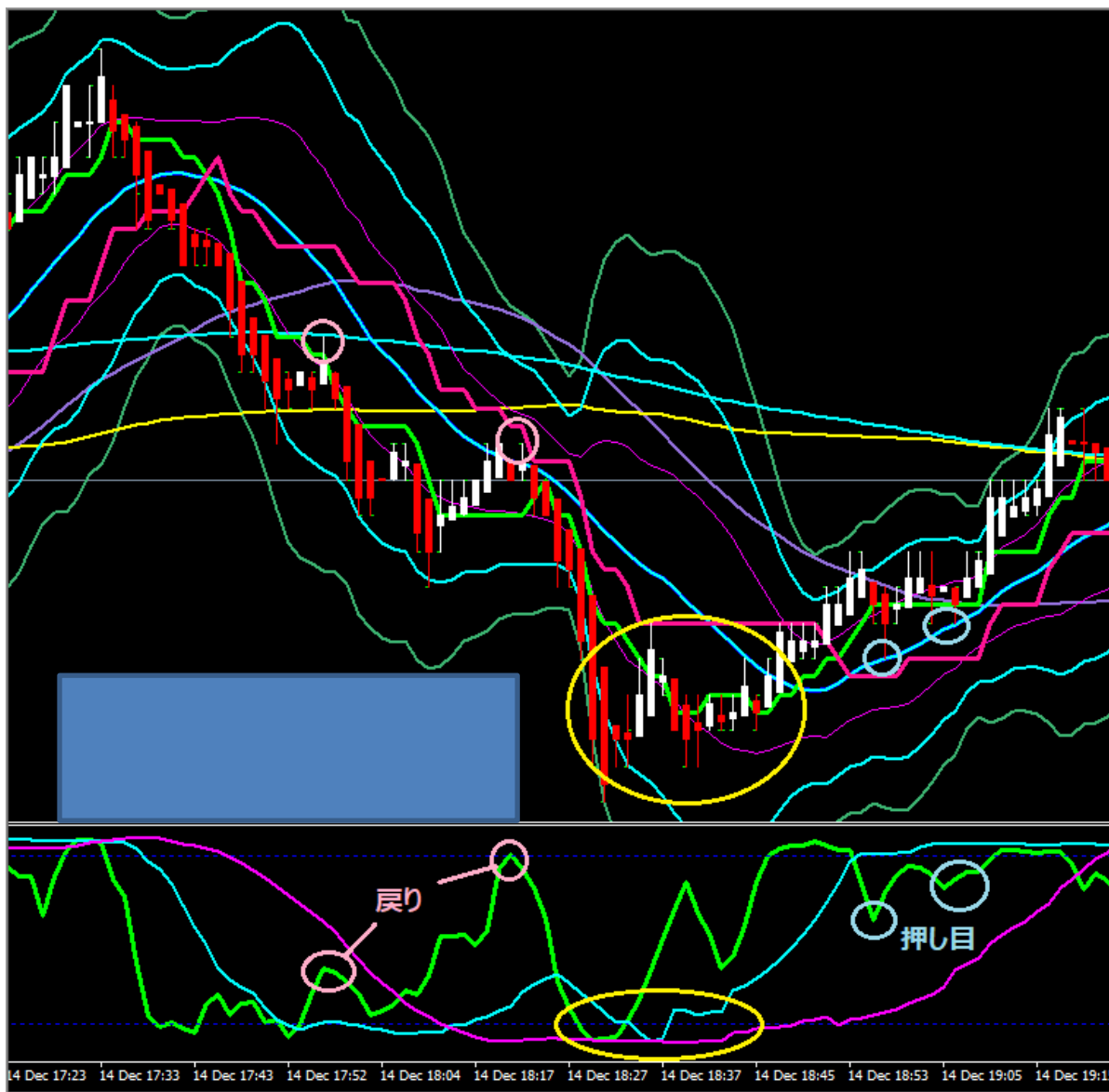
上昇の時も、下落の時も、3本の線がXXXにいったん集まり、その後、1本ずつ、あまりXXXを開けずにXXX方向へ動き出す形が、最も強いトレンド発生の特徴です。つまり、3つの周期がXXXして、それまでのトレンドをXXXさせ、更にXXXさせる力が集まっているポイントと言う事になります。

以下、XXXと価格の動きを画像で確認しましょう。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

2. 上昇トレンドの起点



上のチャートでは、平均足のXXXが集まって、バンドウォークの下降トレンドが発生しています。XXX 近くになると、XXX の3本の線が、最小値の-100に近いゾーンに集まっています。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

その後、XXX線⇒XXX線⇒XXX線の順番で、XXXして行きます。XXX線がXXXを始めたあたりでXXXを付け、その後はXXXが始まっていることが分かります。

対照的なのは、この画像の左半分です。この時は下降トレンドが発生中で、XXX線が上昇を始めても、XXXは大きく上げることはありません。なぜなら、XXX線やXXX線が下落中なのでXXX線の上昇力が相殺され、上昇は短期にとどまるからです。

ですから、相場のトレンドが終了し、更に転換するには、3つのXXXがそろって反対方向へ動き出すことが必須である、ということが分かります。

従って、3本の線がXXXに集まったのち、XXX線がXXXに変わったところが、XXXの仕掛けポイントとなります。平均足では、XXXに変わったところとなります。合わせて判断するのもいいでしょう。

3. 上昇トレンド発生直後の追従買いポイント

画像のXXXの部分の中で、XXX線が上向きになったときに、1回目のXXXを作ります。その後、XXXの線が上向きとなった時点で追撃のXXXポジションを作ります。この時、トレンドラインやボリンジャーバンドの中心線を上抜けるなどの動きがあれば、XXXの可能性が非常に高まります。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

4. 上昇トレンド継続中のXXXポイント

強い上昇トレンドが発生すると、XXXを支えるXXXの支持線の存在が明確になります。この画像の場合はXXX線です。この支持線は下値支持線と呼ばれますが、XXXのXXX線が一旦XXXに動き、価格がXXXまでXXXところから、XXXが始まる場所があります。画像の中のXXXの部分です。

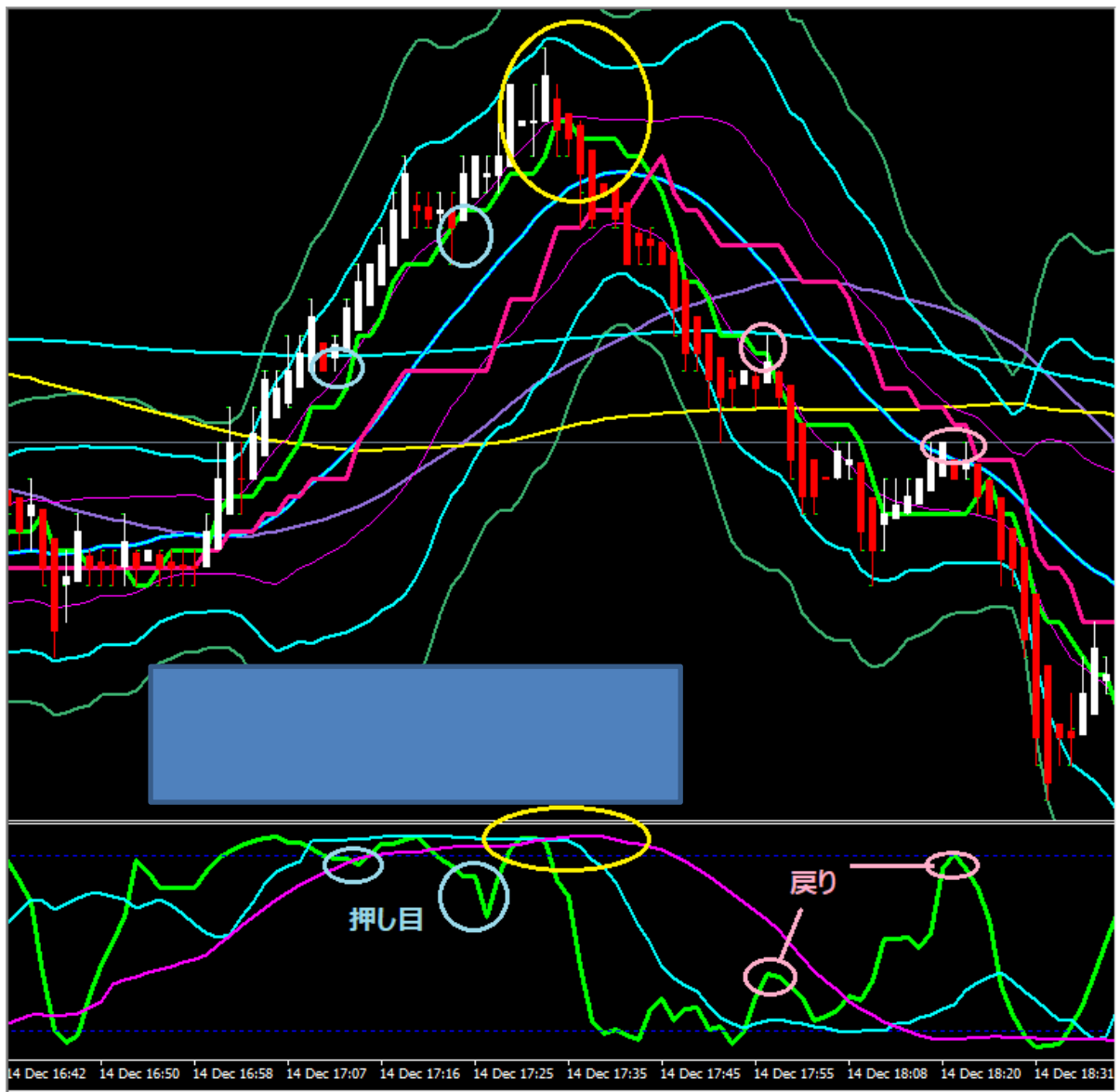
つまり、XXXにより、小さなXXXが発生し、XXX到達から再度XXXところ

です。ですから、XXXのXXX線が一旦XXXして、途中でXXXしたところがXXXポイントとなります。下値支持線と合わせて判断するのもいいでしょう。

5. 下降トレンドの起点

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法



上のチャートの左側では、平均足のXXXが集まって、バンドウォークの上昇トレンドが発生しています。XXX 近くになると、XXX の3本の線が、最大値の100に近いゾーンに集まっています。

その後、XXX 線⇒XXX 線⇒XXX 線の順番で、XXX して行きます。XXX 線

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

がXXXを始めたあたりでXXXはXXXを付け、その後はXXXが始まっていることが分かります。

対照的なのは、この画像の左半分です。この時は上昇トレンドが発生中で、XXX線がXXXを始めても、XXXは大きく下げることはありません。なぜなら、XXX線やXXX線が上昇中なので、相殺されて下落は短期にとどまるからです。いわゆる「押し目」です。

ですから、相場のトレンドが終了し、更に転換するには、3つのXXXがそろってXXXへ動き出すことが必須である、ということが分かります。

従って、XXXの線が売りゾーンにXXXのち、XXX線がXXX向きに変わったところが、XXXの仕掛けポイントとなります。平均足では、白から赤に変わったところとなります。合わせて判断するのもいいでしょう。

6. 下降トレンド発生直後のXXXポイント

画像のXXXの部分の中で、XXXのXXX線がXXX向きになったときに、1回目のXXXポジションを作ります。その後、3本のXXXの線がXXXとなった時点でXXXを作ります。この時、トレンドラインやボリンジャーバンドの中心線を割るなどの動きがあれば、トレンド転換の可能性が非常に高まります。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

7. 下降トレンド継続中の戻り売りポイント

強い下降トレンドが発生すると、XXXを抑えるXXXのXXX線の存在が明確になります。この画像の場合はXXXの線です。この抵抗線は上値抵抗線と呼びますが、XXXの緑線が一旦XXXに動き、XXXが上XXX線まで戻したところから、再びXXXが始まるところがあります。画像の中のXXXの丸の部分です。

つまり、売り方のXXXにより、小さなXXXが発生し、XXX線到達から再度XXXところです。

ですから、XXXの緑線が一旦XXXして、途中でXXXしたところが戻り売りポイントとなります。上値抵抗線と合わせて判断するのもいいでしょう。

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

第五章 トレードの優位性を高める補完材料

1. テクニカル指標と組み合わせる

1-1. 平均足の見方

平均足は、同じトレンドが継続している間は同じ色のローソク足が表示されます。従って、色が変わればトレンドが変わったこととなります。XXX と平均足の両方がトレンド転換を表している場合、その可能性は極めて高くなります。

1-2. ボリンジャーバンドの見方

ボリンジャーバンドの中心線や各σラインは、トレンドラインとして機能することが非常に多いので、これをブレイクすると、トレンド転換が起きる可能性が高くなります。

1-3. スパンモデルの見方

ボリンジャーバンドと同様、トレンドラインとして機能することが多い指標です。しかも、時間適用をも含んだ指標なので、XXX との相性は抜群です。

2. 大局観・環境認識

1分足でトレードする場合、大局観や環境認識を計るために、15分足や30分足の上位足のチャートを確認し、上位足のトレンドやトレンドの転換

デイトレのためのスマートエントリー

シンプルで超簡単な1分足エントリー法

点に留意することで、トレードの優位性を高めることができます。

上位足のトレンドに逆らうよりも、同一方向へ仕掛けた方が優位性が高まるのは言うまでもありません。更に、トレンドの転換点が同期していれば、そこは大きなチャンス=増し玉も検討すべきポイントと言う事にもなります。

チャートの見方はタイムフレームに関係なく共通ですから、このマニュアルに沿ってチャート分析を行うことができます。

3. ボラティリティと時間帯

XXX や XXX 系の指標は、ボラティリティが極端に低下しているときはあまり役に立ちません。あなたが狙いたい値幅と平均的な値幅を比較して、少なくとも5倍以上の相場のボラティリティが欲しいところ。

日経225先物の相場が一番よく動くのは、寄り付きから45分間程度、もしくは9時から30分間程度です。

昼休みや夜場はボラティリティが低下する傾向があります。また、海外市場がお休みで、日本だけ開いているときもボラティリティが低下します。

よく動いている時間帯にトレードした方が、狙える値幅も大きくなりますので、効率の良いトレードが期待できます。